

# 鹿児島地本だより

第47号  
(令和5年夏号)

発行元 自衛隊  
鹿児島地方協力本部

印刷所  
南日本出版株式会社

## 本部長ご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部長  
1等海佐 稲崎 精一郎



昨年の三月二十八日付で自衛隊鹿児島地方協力本部長に就任し約一年半が経過しましたが、平素から防衛協会、家族会、隊友会、地本後援会、就職援護協会などの各協力団体並びに企業主、募集相談員などの皆様におかれましては、防衛省・自衛隊の活動並びに自衛隊鹿児島地方協力本部の業務に対しまして、深いご理解と絶大なご支援を賜っており、誠にありがとうございます。礼申し上げます。

令和四年度を振り返りますと、コロナ禍による自衛隊の各種行事の縮小もしくは中止、学校での説明会等の活動制限、経済活動の回復に伴う企業の求人状況の改善と自衛官募集に対する環境は非常に厳しいものでありましたが、6月の全国各地本長会議の折に、防衛大臣から令和四年度優秀地本として第一級賞状をいただくことができました。これもひとえに、鹿児島地本総員が目標に向け努力したことに加え、各協力団体並び

に企業主、募集相談員の皆様のご支援、ご協力のお陰と心より感謝申し上げます。

令和五年度においても、我が国を取り巻く安全保障環境は決して楽観的とは言えず、むしろ厳しいと認識せざるを得ない状況であります。また、これまでに類を見ない少子化による適齢者人口低迷、地元志向の学生の増加、国際情勢の不安定化、新型コロナウイルスに関する施策もインフルエンザ同様、5類に分類が緩和されましたが、その感染者は今でも発生している状況が継続しています。さらに、ロシアによるウクライナ侵攻は終結の見通しが全く立たず、募集への影響も少なからずある状況であります。令和四年度の結果とその原因をしっかりと分析し、令和五年度に活かすべく、新たに「連覇達成」を目標に掲げ自衛隊鹿児島地方協力本部の部員一丸となって募集・援護業務に邁進中であります。

そのような状況の中にあっても、自衛隊鹿児島地方協力本部は、「地域の皆様と防衛省・自衛隊の架け橋」として、また、あらゆる事態に対応し、皆様の生命と財産を守るため「精強な自衛隊の維持」を目標に掲げ、部員一丸となって職務に邁進して参りますので、今後とも変わらぬご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 令和5年度募集・援護出陣式



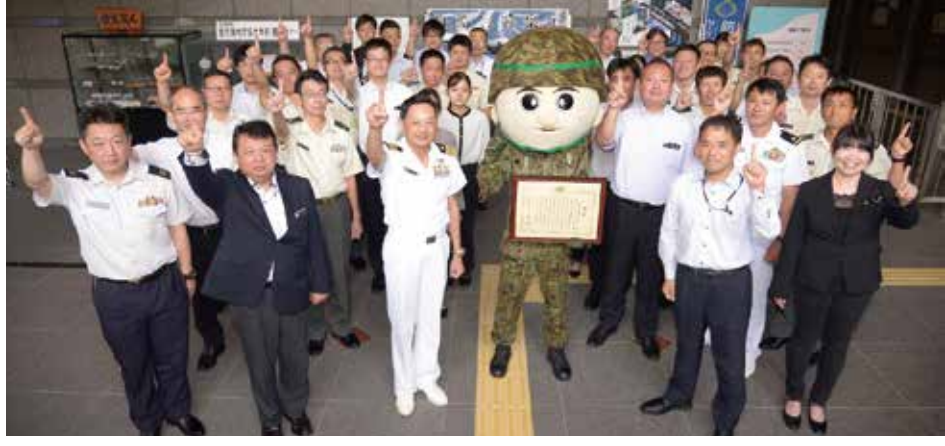
自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和五年四月十八日(火)、「令和5年度募集・援護出陣式」を実施した。本出陣式の目的は、令和五年度の募集・援護及び予備自衛官等業務のスタートに当たり、地本としての任務達成、各種目標の達成及び一年を通じての安全を祈願するとともに、部員全員の士気の高揚及び団結の強化を図ることである。

出陣式に際し、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会会長 谷川 洋造様、同副会長 宮口 修一様並びに有村長藏様のご臨席を賜り、過分なるご祝辞を頂戴して、部員一同、更に身を引き締めた。

本部長は式辞で、「自衛隊鹿児島地方協力本部は、自衛隊を支える良質な隊員を獲得、優良な就職援護先を獲得すること及び予備自衛官等を確保することにより、国民の負託に応えることが求められている。任務達成に欠かすことができない方々のご支援・ご協力を賜りながら、各種業務に取り組む所存であり、部員一人一人が任務達成のために何をすべきかを考えながら業務に取り組んでもらいたい。」と部員に訓示した。

最後に令和五年度の募集・援護の目標達成を祈願して恒例のダルマの目入れを行い、部員全員が令和五年度の目標達成に向けて、決意を新たにしました。

## 令和4年度優秀地本 第1級賞状受賞



鹿屋地域事務所  
田野 敦子 1等海曹  
優秀広報官 第2級賞詞受賞



※「鹿児島地本」は「自衛隊鹿児島地方協力本部」の略称です。



自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和5年4月14日(金)から16日(日)の3日間、鹿児島本港北ふ頭に寄港した護衛艦「あけぼの」(艦長 外川久人 2等海佐)の一般公開等を支援した。

鹿児島地方協力本部募集課広報班は、一般公開の実施にむけ、SNS等を活用した告知を行ったところ、SNS告知及びテレビ放送(14日夕刻)の効果もあり、2日間で4914名の乗艦者が訪れ、非常に賑わった。

一般公開では、前甲板(76mm砲、VLS)、艦橋、士官室、操縦室及び格納庫を回るコースで展示説明を行うとともに、格納庫には装備品(立検装備、SCBA)試着コーナーを開設、その他ラッパ演奏及び操法展示(76mm砲、PHALANX)が実施された。また、「護衛艦隊護守印巡り」の護衛艦「あけぼの」の護守印は、非常に人気を博し来場された皆様には十分満足していただける内容となった。

来場者からは、「なかなか見ることの出来ない士官室などが見学できて感動しました。」「自前の御朱印帳を持参しました。護衛艦「あけぼの」の護守印をいただけで記念になりました。ありがとうございました。」等、多くの感想と感謝の言葉をいただいた。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、引き続き、鹿児島県民の自衛隊に対する理解促進及び認知度向上につながるすべての活動を積極的に実施するとともに、あらゆる機会を活用して、隊員募集に資する広報活動を継続的かつ効果的に実施していく。



多くの来場者で賑わった北ふ頭の様子



本部長と記念撮影の様子

募集課 広報班  
鹿児島県民へ海上自衛隊の魅力発信！  
護衛艦「あけぼの」一般公開

鹿児島募集案内所は、令和4年12月22日(木)、鹿児島県立開陽高等学校からの依頼を受け、全日制生徒及び校長以下職員約300名に対し、防災意識を高めてもらう目的で防災講話を実施した。

講話では、所長が「災害への備え」と題して、クイズを交えながら自身の能力を向上させるために必要な「災害のリスクや避難場所の認知」、「災害情報と収集手段」、「備蓄品の準備等」について具体的に説明した後、「自助・共助」の重要性を説明するとともに、東日本大震災時の自衛隊の災害派遣活動を記録した動画を放映し、自衛隊の崇高な任務並びに国民の生命、財産を守る最後の砦としての自衛隊への理解促進・拡充を図ることができた。

参加した生徒からは、「災害派遣で大変さややりがいは何ですか。」「自衛隊はどれくらいで災害場所に行くのですか。」「自衛隊の人たちがいなければ、私、家族、大切な人を失っていたかもしれないと思うと感謝しかありません。」などの声が聞かれた。

また、聴講した職員は、「自衛隊の皆さんが支援して下さる前までに必要な水や非常食とかの備えの重要性が分かりました。」「地域の皆さんと人間関係を構築しておかないといざという時に困りますね。」などの所見が聞かれた。

鹿児島募集案内所は、引き続き、各種ニーズに沿った魅力的な広報等の実施に努め、中・長期的な募集基盤の拡充を図り、育てる募集活動に取り組むとともに、より多くの募集対象者に自衛隊の魅力発信し、入隊意欲の高い適質人材の獲得に取り組んでいく。



所長による説明の様子(現国分所長 迫口1尉)

鹿児島募集案内所  
「防災講話で「自助」の重要性を強調」  
自衛隊の災害派遣活動を広報

自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和5年1月7日(土)に桜島(鹿児島市)で実施された「第53回桜島火山爆発総合防災訓練」に参加した。

本防災訓練のコンセプトは、大規模噴火が発生した場合においても「犠牲者0」を目標とし、住民と地域、防災関係機関等及び行政が密接に連携した実践的な避難訓練であり関係機関等68団体、住民等約1700名が参加した。

当日は、訓練の想定を噴火警戒レベル4とし、住民主体のマイカーによる避難、路線バスによる避難及び避難促進施設(桜島保育園)の避難が実施されるとともに、消防、警察及び自衛隊による合同の残留者捜索等もあわせて行われた。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、仮想避難地域において、第12普通科連隊第4中隊(国分)と協同で自衛隊ブースを設置した。ブースにおいては、災害派遣の活動状況を示したパネル展示、災害派遣従事車両等の展示及び火災防護衣等の試着コーナーをもうけ、関係機関等からの参加者に対して、広く自衛隊の活動をアピールした。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、引き続き、多くの市民の皆様へ自衛隊の活動等を紹介する機会を設け、自衛隊に対する理解の促進及び自衛隊の認知度の向上に努めていく。



鹿児島市長に説明する様子



火災防護衣について説明する様子

総務課 企画班  
参加して 第53回桜島火山爆発総合防災訓練に

自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和5年3月23日(木)霧島商工会議所において「護衛艦きりしまカレー認定式」を実施した。

本認定式は、護衛艦「きりしま」の艦名が、霧島山に由来する事から、霧島市内の飲食店に、護衛艦「きりしま」のカレーレシピを提供し、飲食店がレシピに基づいて再現、護衛艦「きりしまカレー」として認定をうけることにより、海上自衛隊の認知度向上並びに地域振興の一助として企画され、飲食業生活衛生同業組合霧島支部の加盟店の中から17店舗の飲食店が公募に名乗りをあげた。

鹿児島地本募集課(課長 竹下友也 2等陸佐 現、第2高射特科大隊長(旭川))を中心に各関係団体及びメディアとの綿密な調整を実施し、最終的に護衛艦「きりしま」艦長(石寺隆彦 1等海佐)、前任伍長(篠田 勇 海曹長)、給養員(白石顕之 3等海曹)が試食し、公募に名乗りをあげた飲食店17店舗が5項目の基準を全てクリアし、はれて「護衛艦きりしまカレー」の認定を受けた。

認定を受けた方々からは、「護衛艦きりしまカレー」の認定を受ける為、いただいたレシピを再現することに時間をかけました。認定されてうれしいです。」霧島市で鶏を扱う店主からは、「霧島の季節の野菜、自慢の鶏を使って護衛艦「きりしま」カレーを広めたい。ありがとうございました。」等、多くの感想と感謝の言葉をいただいた。

また、一緒に試食した鹿児島地本広報係長(久木田和昭 准海尉)からは「艦(ふね)を降りて8年、久しぶりに海上自衛隊のカレーを食べた気がした。」との感想もあり、店主の方々が満面の笑みをうかべていたことは、非常に印象的であった。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、引き続き、鹿児島県民の自衛隊に対する理解促進及び認知度向上につながるすべての活動を積極的に実施するとともに、あらゆる機会を活用し隊員募集に資する広報活動を継続的かつ効果的に実施していく。



認定後の記念撮影の様子

募集課  
実施して 護衛艦「きりしま」カレー認定式を

自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和5年3月16日(木)、有限会社徳永生花に防衛大臣認定の予備自衛官等協力事業所認定証を交付した。

本制度は、事業所が予備自衛官等の雇用を通じ、社会貢献を果たしていることを防衛省として認定・称賛することで制度に対する社会的な関心・理解を深めることを目的として平成27年度から新設された制度である。

今回認定証を交付された事業所は、長年、即応予備自衛官を雇用しており、引き続き自衛隊と連携し、退職自衛官の再就職に積極的に協力していくとのことであった。

自衛隊鹿児島地方協力本部では、今後とも予備自衛官等雇用企業との関係維持に努め、予備自衛官等の志願促進及び訓練出頭環境の醸成に邁進していく。



有限会社徳永生花 代表取締役 徳永様(右)に認定証を交付する福岡本部長

支援課 予備自衛官班  
事業所認定証を交付 予備自衛官等防衛大臣認定協力

国分駐屯地援護センターは、令和5年2月16日(木)から2月17日(金)の2日間、第12普通科連隊が実施する「第4回陸士就職補導教育」を支援した。

本教育は、任期満了退職予定隊員等に対する令和4年度4回目の教育であり、自衛隊新卒者として就職または進学するにあたり必要となる知識及び心構え等に重点をおいた教育を実施した。

参加した11名の隊員は、個々に状況の違いはあるものの近い将来、就職することになる。コロナ禍、少子化等による厳しい経済情勢を乗り越え、新たな人生を踏み出す上で理解しておくべき最低限の労働法や就職支援状況等について、丁寧に説明するとともに、「自己紹介」等、澁刺とした印象をあたえるような要領及び実際に発表の場を捉えるなど実践的な教育を実施した。

また、アパホテル国分社長諏訪園氏を講師として迎え、ビジネスマナー講座を実施し、現時点での不安解消と再出発における大きな後押しとなった。

国分駐屯地援護センターは、今後も、年間を通じて段階的な就職補導教育を実施し、隊員が自信をもって再就職に望めるように、駐屯地各所在部隊と連携を図り、今後も実効性ある援護支援業務に努めていく。



諏訪氏によるビジネスマナー(名刺交換)講座の様子

国分駐屯地援護センター  
令和4年度第4回陸士就職補導 教育支援(国分)



# 各所・センターの話題

## 4年振りの「エアメモリアルinかのや2023」 ブース開設!自衛隊の魅力を発信!

鹿屋地域事務所

令和5年4月29日(土)及び30日(日)4年振りに「エアメモリアルinかのや2023」が鹿屋航空基地において開催され、鹿屋地域事務所はブースを開設し会場に訪れた約18000名の来場者に特製缶バッジや、航空機の写真の配布を実施するなど、自衛隊の理解促進に繋がる「育てる広報」を実施しブースは多くのご家族連れで大いににぎわった。



多くのご家族連れが訪れ賑わう様子

## 護衛艦「せんだい」in川内(せんだい) ～艦名由来地での3年振りの一般公開～

薩摩川内出張所

薩摩川内出張所は、令和5年3月11日(土)、12日(日)の2日間、川内港(薩摩川内市)において、川内川を艦名の由来とする護衛艦「せんだい」の一般公開を実施した。一般公開では乗員による制服展示、ラッパ演奏及び武器操法展示が実施されるなど、会場を訪れた約2700名の来場者に、海上自衛隊を十分に満喫していただける内容だった。



多くの来場者で賑わった川内港京泊岸壁の様子

## GWを利用した母校訪問 鹿児島県立曾於高等学校(曾於市)

大隅地域事務所

大隅地域事務所は、令和5年5月1日(月)鹿児島県立曾於高等学校(曾於市)卒業生6名(陸自1名、海自3名、空自2名)が母校において、自衛隊入隊希望の後輩3名と懇談会を実施した。入隊希望予定者の後輩たちにとって陸海空自衛官の先輩が揃う機会は貴重な経験であり、和気あいあいとした中にも、自衛隊について質疑応答が活発に行われ、大変有意義な時間となった。



活発に質疑応答が行われる様子

## 帰郷広報 山川高等学校(指宿市) ～後輩へのメッセージ～

知覧分駐所

知覧分駐所は、令和5年5月2日(火)防府南基地に自衛官候補生教育入隊中の松岡沙耶自衛官候補生の母校である鹿児島県立山川高等学校(指宿市)で、自衛隊受験予定の後輩4名に対して相談会を実施した。後輩からの質問に「自衛隊は成長できる職場です。最初は不安ばかりでしたが、たくさんの同期がいて、皆で支え合って乗り越えることができます。」と笑顔で答えていた。



恩師は、教え子との再会を大変喜ばれてました

## 令和4年度入隊予定者生活体験入隊を実施して ～入隊に向け準備完了!!～

奄美大島駐在員事務所

奄美大島駐在員事務所は、令和5年3月9日(木)から10日(金)の間、奄美駐屯地において、奄美大島出身の令和4年度入隊予定者11名に対し、入隊予定者の不安の払拭、入隊意欲の更なる向上を目的とした事前生活体験入隊を実施した。入隊予定者は基本教練、生活隊舎でのベッドメイク等、管内生活を経験し、入隊にむけた準備を完了した。



奄美警備隊長 日高1佐と修了証書を手記念撮影の様子

## 与論町町政60周年記念式典会場 自衛隊をPR

徳之島駐在員事務所

徳之島駐在員事務所は、令和5年4月23日(日)与論町町政記念式典会場においてMRCを開設した。MRCのVR体験コーナー、制服試着コーナー及びオリジナル缶バッジ作成コーナーは約200名の来場者で賑わった。記念式典では、第8音楽隊(北熊本)と第12普通科連隊音楽部(国分)混成による演奏が行われるなど、島民の皆様へ自衛隊の認知度向上に繋がる有意義な広報活動となった。 ※MRC・・・MOVE RECRUIT CAR



制服試着し記念撮影する様子

## 再就職に向け準備は万全!! ～第1回業種説明会～

国分駐屯地援護センター

国分駐屯地援護センターは、令和5年3月17日(金)、「第1回業種説明会」を実施した。本説明会は、令和4年度からの新たな取り組みで陸海自衛隊の任期制隊員・定年制退職隊員約50名に対し、10社(建設業、林業、農業、警備等)による業種内容等について説明した。参加隊員は業種について認識を深め、再就職に向け準備を整えた。



業種説明会場の様子

## 令和5年度子どもまつり(西之表市) ～育てる広報で自衛隊をPR～

種子島駐在員事務所

種子島駐在員事務所は、令和5年5月28日(日)西之表市商工会青年部主催の「子どもまつり」に自衛隊ブースを開設、まもる君と記念撮影等「育てる広報」を実施した。引き続き、島民の方々とふれあう機会を設け自衛隊をPRしていく。



海上保安庁マスコットキャラクター「うーみん」と一緒に



# 令和5年度鹿児島県自衛隊広報大使



がんばるあなたの応援団！  
じゃんけんマン



走る冒険家  
岩元 みさ



高校生モデル  
徳永のんの



高校生モデル  
斎藤奈菜香



鹿児島フリータレント  
山口ひかり



鹿児島のヒーロー  
薩摩剣士隼人



令和5年4月19日に、おいげえで「鹿児島県自衛隊広報大使委嘱式」があいもした。  
若え〜2人ん高校生をあわせた6人んしを広報大使に委嘱しもした。今年も6人の力をかりて、自衛官募集とそん他人仕事を、はめつけっせえ〜きばっていつでなあ〜！

## 人事往来

### 「転出者」

#### 自衛官

2等陸佐 竹下 友也  
第2高射特科大隊長(募集課長)

2等海佐 信夫 誠  
第211教育航空隊(種子島駐在員事務所長)

2等海尉 渡邊 繁樹  
佐世保基地業務隊付(奄美大島駐在員事務所長)

海曹長 中原 修一  
鹿屋航空基地付(鹿屋地域事務所)

1等陸曹 坂元 健一  
第43普通科連隊(大隅地域事務所)

1等航空曹 東光 一郎  
第5航空団(鹿児島募集案内所)

2等海曹 飯屋園 学  
下関基地隊(援護課)

2等陸曹 横山 裕也  
宮古警備隊(総務課)

事務官等  
林 勝巳  
西部方面総監部(総務課長)

小村 貴之  
和歌山地本(援護課)

北園 雄一  
陸上幕僚監部(募集課)

翁長 由香  
大分地本(総務課)

小山 晏奈  
防衛大学校(総務課)

小塩 未来  
防衛医科大学校(総務課)

新名 泰斗  
えびの駐屯地業務隊(総務課)

### 「転入者」

自衛官  
2等陸佐 山崎 真一  
募集課長(東北方面総監部)

2等陸佐 竹迫 孝一  
鹿児島募集案内所長(東京地本)

3等陸佐 河村 政博  
川内駐屯地援護センター長(中方特科隊)

3等海佐 中脇 淳裕  
種子島駐在員事務所(第61航空隊)

1等海尉 壽 満則  
奄美大島駐在員事務所長(奄美基地分遣隊)

1等空尉 市井瀬 優一  
援護課(松島情報保全派遣隊)

陸曹長 西田 哲久  
鹿児島募集案内所(水陸機動団)

海曹長 東海 勇一  
募集課(第5航空隊)

空曹長 石神 英基  
鹿児島募集案内所(第9警戒隊)

1等陸曹 内野 匠  
種子島駐在員事務所(与那国沿岸監視隊)

1等海曹 大野 勝利  
募集課(第2航空隊)

2等海曹 大山 大輔  
鹿屋地域事務所(第1航空隊)

事務官等  
松本 政幸  
総務課長(自衛隊中央病院)

土居 美紀  
援護課長(岡山地本)

植田 信一郎  
援護課(島根地本)

中川 成人  
募集課(えびの駐屯地業務隊)

土谷 麻理  
総務課(大分地本)

野田 悠輔  
総務課(熊本地本)

### 「一定年退官」

3等空佐 津曲 冬樹

3等陸佐 宮坂 謙二

3等陸佐 黒木 茂樹

准陸尉 柳田 武志

防衛事務官 大園 広美

防衛事務官 大園 広美



防衛事務官 大園 広美 (総務課)

「任期満了退職」  
防衛事務官 西田 ひかり

「新規採用事務官」  
和田 麻鈴 (総務課)

橋本 汐音 (総務課)

鹿児島地本 HP



本部	電話番号
自衛隊鹿児島地方協力本部	099-253-8920 (代表)

事務所名	電話番号
薩摩川内出張所	0996-22-2401
鹿屋地域事務所	0994-42-4386
国分地域事務所	0995-45-1836
大隅地域事務所	099-482-1405
鹿児島募集案内所	099-251-7802
知覧分駐所	0993-83-1811
奄美大島駐在員事務所	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	0997-83-3080

鹿児島地本

検索

お問い合わせ先

